



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

回覧

令和 7年 5月 2日
第 3 号

交通事故からいのちを守る

5月の全校朝会は短縮校時期間中であるため、時間短縮のためリモートで行いました。

春の交通安全運動月間であることから、今回は、交通安全について話をしました。警察庁によると、4月から6月にかけて、児童生徒の交通事故が他の時期と比べて増加傾向にあるようです。通学に慣れるに従って注意力が低下

するからではないかと警察庁は分析しています。先週は、朝の登下校の様子を見てまわりました。きちんとルールやマナーを守れている人が多く、あいさつもしっかりできています。角に差しかかると、左



右をよく見てから道を横切る子や手を挙げて横断歩道を渡る子もいます。けれども、一方で道の真ん中を歩いたり、友達を走って追いかけようとしたり、いくつか気になる様子も見られました。

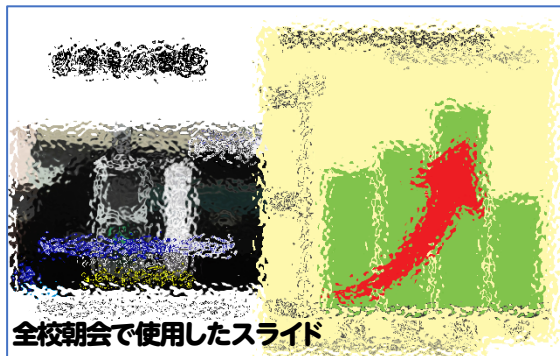
子どもたちには、ニュースの内容を紹介し、気を付けてほしいことを伝えたあと、いつも登下校で見守りをしてくださる方々を写真で紹介しました。自分が通学している場所に立っている人は

知っていても、それ以外の場所で見守ってくださる方の存在はわからないものです。校区では育友会の取組として、見守りをしてくださる保護者の方もおられます。また、美鹿の台自治会では福祉施設建設工事の期間中に下校時の見守りを始めてくださいました。たくさんの方々が、自分たちのことを大切に思って、支え見守ってくださっていることを知り、感謝の気持ちを持って、安心して安全に気を付けながら、元気に登校、笑顔で下校を続けてほしいと思います。なお、5月12日～16日まで、全国交通安全運動の時期とは少しずらして、教職員がいくつかのポイントに立って朝の登校を見守る予定です。

授業参観と学級懇談会にご参加くださりありがとうございました。

始業式の日にたくさんのお手紙を「すぐー」で送らせていただきましたが、添付ファイルが入れ替わっていたために、参観と懇談のお手紙を送ることができなかった学級がいくつかありました。完全なる学校側の確認不足です。該当する保護者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ありません。

保護者の方のご指摘により、該当する学級にはお詫びとともに改めて文書を配信いたしました。例年の紙による配布をやめ、メールを使ってお届けするほうが、受け手の保護者の方も送り手の学校側も便利になると考えすぐー配信しましたが、課題が残りました。配信手順の見直しや複数によるチェックなど配信の仕方について検討し改善していきます。



授業風景

5年生道徳×決まりを守ること

道徳の授業で「きまりを守るのはなんのため」を考えていました。美術館の最終日、閉館後に訪れた客を入館させるのかどうかについて議論していました。客の特別な事情を慮ってきまりに反して入館させるのか、事情によらずお断りするのか。客の事情によっては何とかしてあげたいと思うこともあり葛藤する場面です。授業の終盤、これまでの話し合いを経て、「何のためにきまりを守るのか」について意見を出し合っていました。「自分の身を守ることになる」「全体の平等につながる」「むりを通したが人が、周りの人から責められることを防ぐことにもなる」「多くの人に迷惑をかけないことにつながる」「つまり、自分だけでなくほかの人の安全を守ることになる」などの意見が出ました。

こうした日常に起こりうる葛藤場面から、思考し議論しながら判断する力を鍛えていくことが大切なのですね。

令和7年度学校教育目標について

令和7年度鹿ノ台小学校の教育目標は、「学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」です。この目標に向かって、本校の教育活動を進めるための土台が、今年度の重点(目標)です。3つの土台とそれを具体化する取組の方向6項目は、下図のとおりです(下線は昨年度から変更した箇所)。

[25年度+グランドデザイン.pdf](#) →



今年度の重点

多様性への理解と規範意識、自己有用感の向上

- ① 決まりを守り、人を思いやる言動を育て
自己有用感を高める取組の推進
 - 善悪の判断を育てる道徳教育
 - 自分らしさへの気づきと自己有用感を育てる取組
 - 家庭と連携した ICT モラル教育
- ② 多様性への理解や自分らしさを発見し互いに尊重しあう態度の育成
 - 障害や不登校、外国籍、LGBTQ 等の多様性の正しい理解と支援
 - 心理的安全性を高める取組

主体的、協働的な学びと個別最適な学びの推進

- ③ 児童の協働的な学びと個別最適な学びの一体化を目指す授業づくり
 - 自己調整力を育む授業
 - 児童同士の意見交流と考えを深める授業
 - 書いて表現する意欲を高め、表現力を育成する取組、発信する場の充実
- ④ 地域と連携した特色ある学びの推進
 - 地域学校協働本部や市教委等と連携した特色ある取組

保護者、地域から信頼される学校づくり

- ⑤ 問題行動への組織的な対応
- ⑥ 「鹿小らしさ」についての共有と取組の推進
- 外部専門機関や学校運営協議会、地域、保護者との連携
- 分かりやすい情報の発信